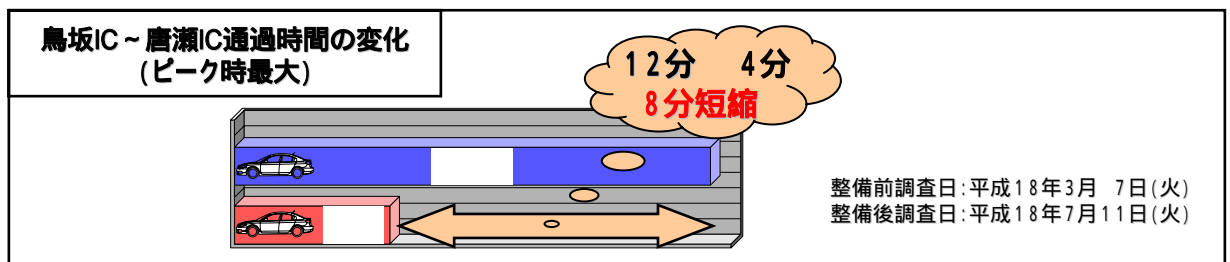
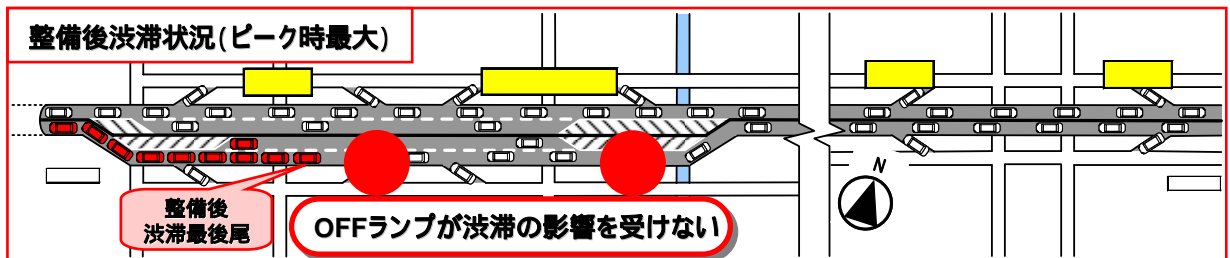
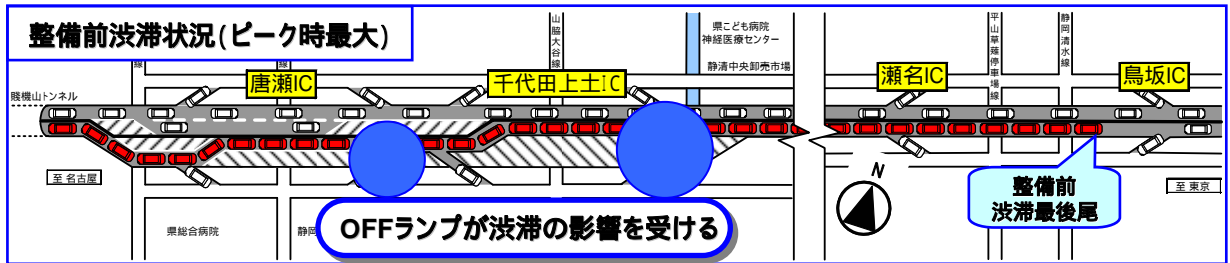


4車線化整備による効果

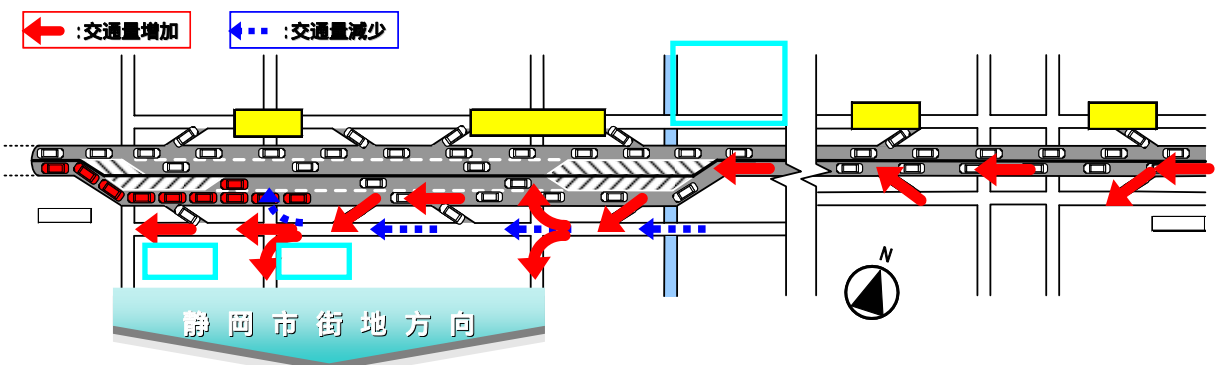
■ 渋滞の緩和

- 千代田上土IC・唐瀬ICが渋滞の影響を受けずに利用可能に
 - 渋滞長の減少によって、鳥坂IC～唐瀬IC間の通過時間が最大8分短縮
- ➡ **千代田上土IC～唐瀬IC間を利用した周辺施設への利便性が向上**



■ IC機能の回復

- 渋滞が解消された区間では、**本線の利用が活性化**
- 本線利用が活性化されたことで、千代田上土IC・唐瀬ICにおけるOFFランプ交通量も増加し、**ICとしての本来の機能が回復**

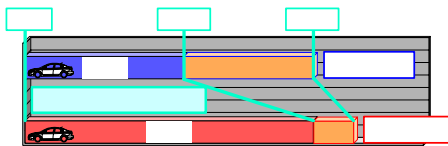


4車線化整備後の課題

■唐瀬IC～昭府2丁目交差点の通過時間が悪化

- 鳥坂IC～唐瀬IC間の通過時間は改善したが、唐瀬IC～昭府2丁目交差点間の通過時間が整備前:16分 整備後29分と約2倍

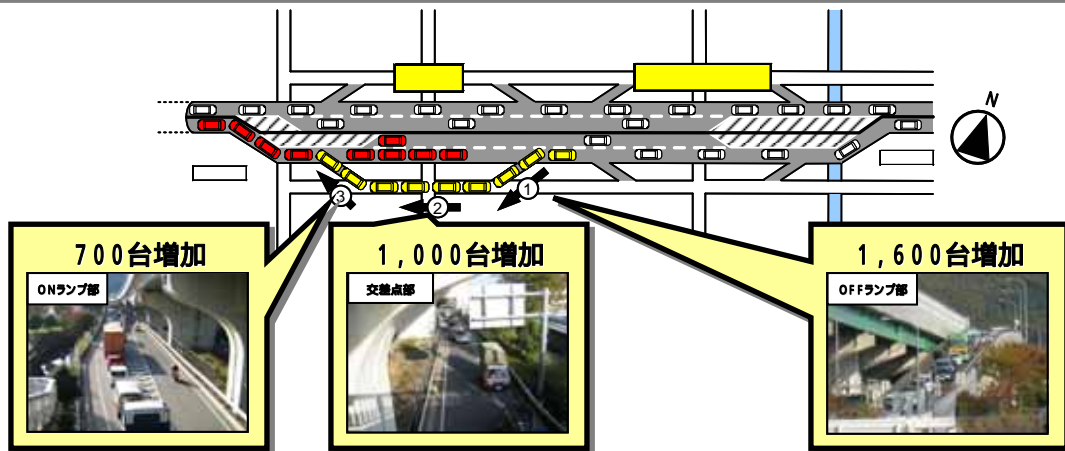
唐瀬IC～昭府2の通過時間の変化(ピーク時最大)



整備前調査日:平成18年3月7日(火)
整備後調査日:平成18年7月11日(火)

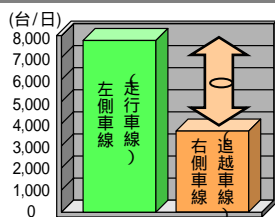
■迂回交通の発生

- 本線における渋滞通過時間が悪化したことで、唐瀬ICを利用して側道へ迂回する交通が増加
- また、迂回交通によってONランプ合流部での渋滞が発生し、本線通過時間の悪化をさらに助長



■静清BP本線(下り線側)1日の利用交通量

- 適切な走行速度を確保するための追越車線が、唐瀬IC～昭府2丁目交差点間の渋滞悪化の影響で有効活用されていない



整備前
右側車線(追越車線)の
利用が少ない

テキスト16分

調査日:平成18年7月11日(火)

通過時間が約

整備後

『試行的に車線運用の変更』平成19年1月22日(月) AM6:00より

29